

北九州地区労連ニュース

2017年8月号 No. 130

発行 北九州地区労働組合総連合

連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号

メール k_roren@ybb.ne.jp 093-921-0747

ホームページ http://www.geocities.jp/k_roren/



道下新事務局長

加者全員で黙祷をささげました。北九州地区労連からは、永富議長など5人の代議員と傍聴者一人が参加しました。

江口県労連議長は、「安倍政権

は、秘密保護法・戦争法・共謀罪など、憲法の基本原則・民意をないがしろにし、アメリカと一緒に戦争する国づくりに血道をあげ、労働法制の改悪で、労働者・国民、地域社会を犠牲にしたグローバル競争国家づくり！この『二つの暴走』を強権的に加速させている。暴走を食い止めるためにも、大きな運動が必要だ。」と訴えま

した。来賓として、全労連から岩橋副議長、福岡県弁護士会から甲斐田副会長が挨拶をしました。

議案の提案は、経過報告、2016年度決算報告、2017年度予算(案)を小川事務局長、2017年度運動方針(案)、組織拡大3ヶ年計画(案)、規約改正(予備提案)までの議案が、小川事務局長、門馬事務局長から提

案されました。

午後からは、田村貴昭衆議院議員が駆けつけてくれました。田村議員は、「安倍政権の森友学園、加計学園問題」などを小道具入りでわかりやすく報告してくれました。討論では、18名の代議員



田村衆議院議員が忙しい中、駆け付けてくれました

が参加し、北九州から原代議員が、東洋食品未払い賃金請求事件、ハラ裁判闘争で勝利報告し、これまでの支ると発言すると、大き

こりました。議案の採決は、すべて採択されました。

役員選挙では、新事北九州地区労連の道が選出され、JMITの小橋幹事にかわり、記長が選出されました。大会は山下副議長葉の後、江口議長の団



平和の夏

ゆるすな！戦争できる

に行われた閉会総会では、7千人の参加者が舞台上で手をつなぎ、「折り鶴」「ウィ・シャル・オーバーカム」を大合唱し、会場には、核兵器禁止条約を力に核兵器廃絶へ歴史の新たな扉を開こうとの決意がみなぎりました。閉会総会は、世界大会・長崎決議「長崎からのよびかけ」を採択。「核兵器禁止条約に背を向け、9条改憲をもくろむ安倍政権を、市民と野党の共同の力で解散総選挙へと追い込みましょう」の一節に、ひときわ大きな拍手が起りました。

日本は、国連で採択された核兵器禁止条約参加を！

長崎市主催の平和式典では、田上市長が「平和宣言」の中で、核兵器禁止条約は被爆者が長年積み重ねてきた努力がようやく形になった、と強調、条約の交渉会議に参加しなかった日本政府を、被爆地には到底理解できないと批判しました。そして、唯一の被爆国として一日も早い条約

への参加をめざし、核の傘に依存する政策を見直すようにと訴えました。



核兵器の廃絶の思いを込め

ここにこペースの平和マラソンに11人が参加

7月23日(日)、スタッフ等を含め11人が参加して「第9回ここにこペースの平和マラソン」を開催しました。

この日は30度を超える真夏日でした。9時30分に門司港駅前をスタートしてから2キロずつ給水をしながら、八幡東区の桃園運動場までの23キロを走りました。途中、八幡大空襲で約300人の市民が犠牲になった小伊藤山公園の慰霊碑の前で記念写真を取りました。



労・福岡市職労
長崎市従組・下松
市職労・防府市職
労・唐津市職労・
山口県高教組・生
北九州地区労連
全法務九州・新
盟・全国ランニン
の参加団体から三

九州北部豪雨 復旧活動



して時半には、高速道路に乗りました。しかし、11日は山の日ということで祝日、この日からお盆休みが多いことなのか、高速道路は、大渋滞で1時間遅れでの到着となりました。

すぐに先発隊を追いかけ、なれない山道をボランティアセンターの人からの案内や地元の人にも道を聞き集合場所の朝倉市杷木の本榎公民館を目指しましたが、途中橋が流木で

遅れた分を取り戻そうとすぐに泥出しやゴミの撤去などのお手伝いに取り掛かりました。

昼の休憩で、そこから少し山の方へ上がると絶句、川は元の形がわからないほど流木や岩が流れ込み、果樹園は破壊され、車は10台ほどがボロボロに、新しい家も壁がなくなっている光景に言葉を失いました。

まだ始まったばかりの復旧活動

被害にあった方は、「裏の小さな川があつという間に濁流となり死ぬかと思った」「避難先の小学校の体育館の裏が川で、植えてあった桜の木が一本また一本と濁流に削られ、ここも危ないと他に避難した」と恐怖の体験を話してくれました。

昼からも泥出しを3時までしたのですが、残念ながら生活できるまでの片付けはできませんでした。後で聞くとこの地域は、ずっと道路が寸断されていて、最近やっとボランティアが入れるようになったところで、もっともっと支援が必要です。

は、時間がかかりそうです。

福岡県労連は、さまざまな協力し、原鶴温泉にボランティア共同センターを立ち上げ、復旧に取り組むことを決定しました。月20日から3ヶ月間を予定します。

北九州地区労連に結集する皆さん、ボランティアへの参

全教中央、全教北九州、子ども生活及び教

8月7日(月)、北九州市での要請行動を行いました。

の高校組織が自治体に要請行した。現在では高校生の就職修学(学校で学ぶ)に関する九州全県の自治体を四日間ですが、北九州市には全教の大きな権限を政令市も持つ必要請を行いました。全教の連、新婦人、北九州子どもとしました。要請内容は多岐に九州市の名に恥じぬよう、子てほしいです。

労働法コラム

性同一性障害者



黒崎

人は褒めているつもり・・・）。きちんと同性愛者だとカミングアウトした上で上司に抗議したいけれど昇進などで差別されるのではないか、同性のパートナーと生活しているのに家族手当がもらえないのはどうしてなのかなど悩みはつきません。

カミングアウトまではしないと決めた場合でも、結婚の予定等

昨年ごろから、弁護士会でもLGBTに関する研修が増えてきました。レスビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字をとった、性的指向及び性自認における少数者を表す用語です。同性愛のパートナーがいる方の場合、夫婦であれば利用できる勤務先の福利厚生（住宅手当、育児や介護休暇など）の対象とならない場合が多いことが問題であり、身体上の性別と性自認が一致しない方の場合、就職活動に支障を来したり、就職した後もトイレや更衣室、服装など男女別に規定されていることについて困難を感じることがあったりします。



北九州地区労連 第29回定期

開催日	2017年
ところ	小倉北区
議題	① 2017年度
	② 2017年度
	③ 2017年度
	④ 2017年度
	⑤ 2017年度

を上司が尋ねること自体の違法性を指摘することは可能ですし、同性愛者を理由とする差別的待遇も許されません。家族手当の法的な義務付けは難しくても、東京都渋谷区や世田谷区、三重県宝塚市、沖縄県那覇市など「パートナーシップ証明書」や「同宣誓書」を交付する自治体であれば、交渉に役立ちます（でも、まだ条例や制度のない自治体が多いです）。もし、身近に会社の中で性的な問題で生きづらさを抱えている方がおられれば、どうしたいか、したくないかの意思を尊重して、一つでも問題が解消されていく手助けができればと思っています。

納得できる

東洋食品で働いていた社員が職場復帰に向かっています。豊留組合が職場復帰に向けて年3月より休職治療に専念して会社は2017年留さんが労働組合端、全体会議への些細なミスを追及度も乱発しサインど悪質なイジメをいたしました。

休職した職場で乱暴な口調で誓約する脅しの発言（あり）やパートナーの前で役職（主任）のような発言や嫌がらせ、また会社昇進に個室に押し込ましめたことと書状